

| | |
|----|-------|
| 分野 | 水産業分野 |
|----|-------|

| | |
|------|--------------------|
| 戦略の柱 | 1 漁業生産の構造改革 |
| 取組方針 | 1 効率的な沿岸漁業生産体制への転換 |

| ◆具体的な取組み | 概要 | 指標 | 出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31) | 取組み内容 | | | | |
|--|---|-------------------------|--|---|-----|-----|-----|-------|
| | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32以降 |
| 【水〇】 ◆漁業経営の効率化(生産工程の改善による生産性の向上)(H30新規) | 現場ニーズに対する解決策についてニーズの掘り起こしを行い、機械化や新技術の導入により課題解決を図る | 新技術の導入や機械化による生産工程の改善の件数 | - (H29) ↓ 0件(H29) ↓ 4件(H31) | <p>生産性向上プロジェクトチームによるニーズ抽出、案件の個別シート作成</p> <p>シーズ業者とのマッチング、個別プロジェクトの伴走支援</p> <p>県水産政策課:生産性向上プロジェクトチームの開催、とりまとめ 県漁業振興課、水産流通課、県漁業指導所、県水産試験場、県内水面漁業センター、漁協:ニーズの掘り起こし、個別プロジェクトの伴走支援 県産業創造課:現場のニーズとシーズ業者とのマッチング、各プロジェクトへの助言、支援</p> | | | | |
| 【水〇】 ◆漁業経営の効率化(カツオ漁業の経営の安定化対策等の強化)(H30新規) | カツオ漁業を次代につなぐための、カツオ漁業経営の改善やカツオ資源の回復に向けた資源管理の取組を推進する | カツオ生産量 | 平均17,088トン/年(H23年~H27年) ↓ 14,893トン(H27) ↓ 17,000トン(H31年) | <p>県民会議の活動支援、島しょ国との関係構築</p> <p>整備投資等への支援</p> <p>県漁業振興課:漁船取得に係る補助制度などによる設備投資の支援、高知カツオ県民会議や関係県と連携した島しょ国との関係構築、 県水産試験場:国が求める科学データの提供 県水産政策課:金融制度活用による漁業者の資金調達支援 漁業者:支援制度の積極的な活用による漁業の効率化、漁業経営の基盤強化</p> | | | | |


| | |
|----|-------|
| 分野 | 水産業分野 |
|----|-------|

| | |
|------|----------------------|
| 戦略の柱 | 1 漁業生産の構造改革 |
| 取組方針 | 2 日本一の種苗生産・中間育成拠点の形成 |

| ◆具体的な取組み | 概要 | 指標 | 出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31) | 取組み内容 | | | | |
|------------------------------|---|---|--|--|-----|-----|-----|-------|
| | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32以降 |
| 【水08】 ◆人工種苗量産体制の確立(H30拡充) | クロマグロ養殖の生産量の増大とカンパチ、ブリ養殖業者の経営安定を図るため、高品質な人工種苗の量産体制を確立する | ①クロマグロ 沖出し尾数 ②カンパチ 種苗生産体制 ③ブリ種苗生産体制 | ①1,000尾(H27) ↓ 17,000尾(H28) ↓ 3万尾 ②試験出荷(H27) ↓ 種苗生産の事業化(H28) ↓ 高品質な人工種苗の実用化 ③生産技術未開発(H29) ↓ 量産技術開発(H30) ↓ 人工種苗生産の事業化 | <p>人工種苗量産技術の確立 クロマグロ人工種苗量産体制の確立と技術の事業化への支援</p> <p>生産者、県漁業振興課、県水産試験場:親魚養成、採卵技術の開発 民間企業、県漁業振興課、県水産試験場、高知県クロマグロ養殖振興協議会:中間育成に係る施設整備、人工種苗生産委託による人工種苗の安定供給と養殖現場への普及、ヨコワ養殖技術開発試験委託による人工種苗の活用と中小規模の既存養</p> <p>カンパチ人工種苗量産体制の確立</p> <p>民間企業:事業化に向けた量産体制の確立、優良親魚の育種、養殖現場での成長試験による品質の確認 県水産試験場:白点病、ハダムシ等の寄生虫防除技術の開発、ハダムシ寄生を抑えるための養殖現場での防除技術の開発、ペコ病に関する疫学調査による中間育成漁場の適地の検討</p> <p>ブリ人工種苗量産体制の確立</p> <p>県漁業振興課、民間企業:事業化に向けた量産技術開発、養殖現場での成長試験による品質の確認 県水産試験場:ペコ病等の魚病及び赤潮による被害の軽減に向けた試験研究</p> | | | | |

| | |
|----|-------|
| 分野 | 水産業分野 |
|----|-------|

| | |
|------|-------------|
| 戦略の柱 | 4 流通・販売の強化 |
| 取組方針 | 1 外商ビジネスの拡大 |

| ◆具体的な取組み | 概要 | 指標 | 出発点 ↓ 現状値 ↓ 目標値(H31) | 取組み内容 | | | | |
|---|---|-------------------|---|---|-----|-----|-----|-------|
| | | | | H28 | H29 | H30 | H31 | H32以降 |
| 【水23】 ◆「応援の店」や「さかな屋高知家」を拠点とした外商活動の一層の強化(H30拡充) | 平成31年度末までに「応援の店」の登録店舗を1,000店舗まで増やし、県内事業者の「応援の店」との取引の拡大を支援する | 「高知家の魚応援の店」の登録店舗数 | 374店舗(H26) ↓ 690店舗(H28) ↓ 1,000店舗 | <div style="text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>県水産流通課：「応援の店」の登録店舗の増加に伴い、産地見学会や商談会等のさらなるマッチング機会の創出、「応援の店」を活用した養殖クロマグロ、外国人向けのプロモーション、「さかな屋高知家」での県産水産物の提案会等、県内事業者の外商活動を支援 県内事業者：「応援の店」の増加に伴う営業活動の展開、事業者間による連携の検討</p> </div> | | | | |